



市の検診の申し込みはお早めに …… 2面

上連雀分庁舎が9月1日(木)にオープンします …… 3面

市からのお知らせ …… 7面から

太宰治賞受賞者 夜釣十六さん寄稿文 …… 8面

三鷹市美術ギャラリー
「芸術写真の時代 塩谷定好展」 …… 8面

9月1日は防災の日

日ごろの備え できていますか?

4月に発生した熊本県・大分県を震源とした熊本地震は最大震度7を記録し、大きな被害をもたらしました。私たちの住む東京でも、いつ大地震が来てもおかしくありません。地震の被害は、日ごろの備えで小さくすることができます。「防災の日」をきっかけに、震災への備えを改めて見直してみましょう。

☎防災課☎内線2283

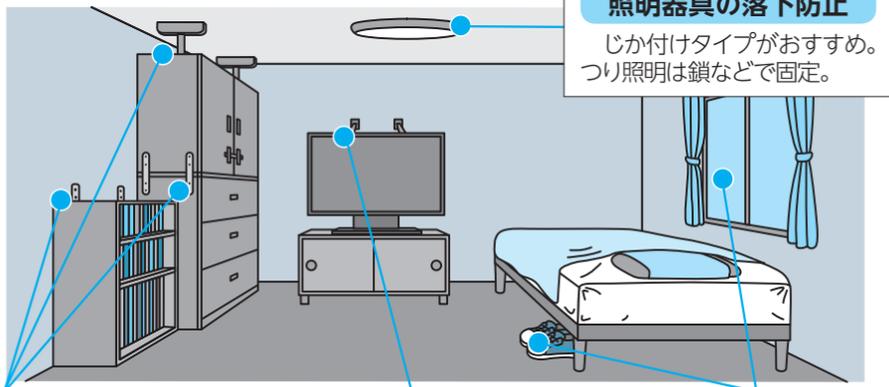


防災対策の基本は「自助」!
まずは自分の身を守る
備えを固めよう

三鷹市防災キャラクター「じじよまる」

家の中を見回してみよう

地震によってけがをしないことが大切です



照明器具の落下防止

じか付けタイプがおすすめ。
つり照明は鎖などで固定。

家具の転倒防止

L字金具や突っ張り棒、
ストッパー式器具などで
固定。寝ている場所に倒れて
こないよう、配置にも注意。

電化製品や置物の 転倒防止

転倒防止バンドや粘
着シートで固定。

ガラスの飛散防止

飛散防止フィルムを貼
る。寝るときはカーテン
を引く。スニーカーを置
いておく安心。

在宅避難のために備蓄も大切

自宅で避難生活(在宅避難)ができるように、電
気・水道・ガスなどライフラインが途絶えた場合に
備え、「最低3日間は自力で生活できる」備蓄をしま
しょう。普段から食べ慣れている食料や水のほか、
ガスコンロ、簡易トイレなどを備蓄しておきましょう。



もしもの時には



◆地震の直後は…

どう行動したらよいか、確認しておきましょう

揺れが収まったら、近隣の火災状況や家の状態などを確認し、安全が確認できたら自宅にとどまります。避難の必要がある場合は避難場所で一時的に身の安全を確保し、その後、在宅避難を検討します。

◆在宅避難ができなくなったら…

避難所での集団生活が始まります。避難所のルールを知っておきましょう

避難所生活を円滑に行うため、市では避難所の生活時間や運営組織、トイレ設置やごみ出し場所などをあらかじめ定めています。避難生活が長期化する場合は、避難者などで組織する「避難所運営委員会」で必要に応じて見直していきます。

◆けがをしたり病気にかかってしまったら…

震度6弱以上の地震発生時は診療所を閉院し、災害時医療救護所と病院に医療を集中します

限られた医療スタッフや医薬品を最大限に活用し、効率的な医療活動を行うため、市内7カ所の災害時医療救護所と7つの病院に医師などが集まり、医療活動に従事します。軽症の方は最寄りの医療救護所へ、症状の重い方は病院で治療を受けてください。

災害時医療救護所 三小・五小・大沢台小・高山小・南浦小・中原小・井口小
病院(医療拠点) 武蔵野病院・三鷹病院・篠原病院・野村病院・井之頭病院
三鷹中央病院・長谷川病院

※杏林大学病院は東京都の災害拠点病院として、重症者の治療を行います。

三鷹市総合防災訓練に参加しましょう!

地区	日程	時間	会場
東部	9月3日(出)	午前9時30分~11時30分	牟礼コミュニティセンター
大沢	10月30日(日)	午前10時~正午	大沢台小
連雀			南浦小
駅前			四小
新川中原(メイン会場)	11月6日(日)	午前10時~正午	中原小
西部	11月13日(日)	午前10時~午後0時30分	二中
井の頭			井の頭コミュニティセンター

防災ブック『東京防災』をご覧ください

昨年、東京都が各家庭に配布した『東京防災』は、日ごろの備えや地震発生時の行動などを分かりやすく解説しています。東京都防災ホームページ <http://www.bousai.metro.tokyo.jp/> のほか、電子書籍でもご覧いただけます。



新企画展示を開催中の三鷹の森ジブリ美術館にて
© Museo d'Arte Ghibli
© Studio Ghibli

市長のひとことコーナー

ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は8面参照)。

※入場は日時指定の予約制。三鷹市・近隣市民枠のチケットは三鷹駅前のみたか観光案内所でお求めいただけます。

三鷹市下連雀にある「三鷹市立アニメーション美術館(三鷹の森ジブリ美術館)」は、平成13(2001)年10月に開館してから15年を迎えます。そこで、このたび15年ぶりに本格的なリニューアル工事をいたしました。建物の外壁の赤、白、緑、黄色の色は15年前の開館当時の色によみがえっています。屋上庭園も、宮崎駿監督の映画「天空の城ラピュタ」の雰囲気そのままに、ロボット兵の立つ新たな憩いの場所としてよみがえりました。さらに、来館者に少しでも快適に過ごしていただきたいとの思いで、目には見えない空調等の環境設備も充実いたしました。

三鷹の森ジブリ美術館は、小さなお子様から大人まで全ての世代の皆様楽しんでいただけるアニメーション美術館であり、その魅力は、館主であり三鷹市名誉市民でもある宮崎駿監督がこれまで14年間、心を込めて独自の企画展示を毎年作り続けてくださったことにあります。現在、14年分の企画展示を一室に集めた総集編ともいえる「猫バス」のジブリの森へ」という企画展示を開催しています。

企画展示室内に入っても感激するのは、大人も乗れるネコバスの存在です。ふかふかのシートにゆったりと座って、窓の外に展開する映画「ハウルの動く城」の繊細な再現などを大いにお楽しみください。以前の展示で、小さなお子様から特に大きな反響があった、トルストイの『3びきのくま』の物語に登場するとても大きなくまにも再会できます。

さて、アニメーションは日本から世界に発信できる素晴らしい芸術文化の一つです。三鷹の森ジブリ美術館は、皆様に支えられて世界中から来館者が訪れています。皆様、新しさを増した三鷹の森ジブリ美術館をどうぞお訪ねください。そして、その魅力を再発見してください。同美術館のキャッチコピー「迷子になろうよ、いっしょに。」の通りに、この美術館で時間を忘れて皆様の大切なひとときを過ごしていただきますよう、心から歓迎いたします。

市長コラム

猫バスによってジブリの森へ

三鷹市長 清原慶子